

再度、架橋を企つ 北盤江吊橋に巨弾

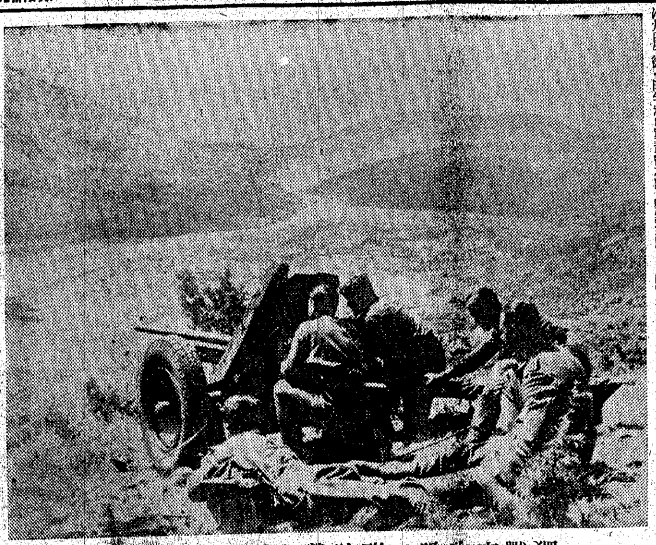
海鷲、滇黔公路を急襲

【本報昆明九日電】滇黔公路の架橋を企つて、北盤江に巨弾を打ち込んだ。海鷲は滇黔公路を急襲し、架橋を企つた。北盤江に巨弾を打ち込んだ。海鷲は滇黔公路を急襲し、架橋を企つた。北盤江に巨弾を打ち込んだ。海鷲は滇黔公路を急襲し、架橋を企つた。

團體、個人を問はず 興亞同盟規約案決定

興亞運動の前衛者をもつて組織

【本報東京九日電】興亞同盟規約案が決定された。興亞運動の前衛者をもつて組織された。興亞同盟規約案が決定された。興亞運動の前衛者をもつて組織された。興亞同盟規約案が決定された。興亞運動の前衛者をもつて組織された。



獨逸軍の陣營に徹底的に襲撃

食糧消費高を調査 需給對策に根本施策

御協力をお願い

【本報東京九日電】食糧消費高を調査し、需給對策に根本施策を講ずる。御協力をお願いする。食糧消費高を調査し、需給對策に根本施策を講ずる。御協力をお願いする。食糧消費高を調査し、需給對策に根本施策を講ずる。御協力をお願いする。

帝國、毅然たる態度 けふ正式に決定

近衛首相あす中外に闡明

【本報東京九日電】帝國の態度が正式に決定された。近衛首相あす中外に闡明する。帝國の態度が正式に決定された。近衛首相あす中外に闡明する。帝國の態度が正式に決定された。近衛首相あす中外に闡明する。

獨軍、既にミシを突破 モスコフ街道を疾風進撃

【本報モスコフ九日電】獨逸軍はミシを突破し、モスコフ街道を疾風進撃した。獨逸軍はミシを突破し、モスコフ街道を疾風進撃した。獨逸軍はミシを突破し、モスコフ街道を疾風進撃した。獨逸軍はミシを突破し、モスコフ街道を疾風進撃した。

獨機千五百を撃墜 ソ聯、獨機發表を反駁

【本報モスコフ九日電】獨逸機千五百機を撃墜した。ソ聯は獨機發表を反駁した。獨逸機千五百機を撃墜した。ソ聯は獨機發表を反駁した。獨逸機千五百機を撃墜した。ソ聯は獨機發表を反駁した。

軍事參議官會議

【本報東京九日電】軍事參議官會議が開かれた。軍事參議官會議が開かれた。軍事參議官會議が開かれた。軍事參議官會議が開かれた。

邦人渡米申請 直接華府政府へ

【本報東京九日電】邦人渡米申請は直接華府政府へ提出される。邦人渡米申請は直接華府政府へ提出される。邦人渡米申請は直接華府政府へ提出される。邦人渡米申請は直接華府政府へ提出される。

佛英軍を撃退 シリア戦線

【本報シリア九日電】佛英軍はシリア戦線で獨逸軍を撃退した。佛英軍はシリア戦線で獨逸軍を撃退した。佛英軍はシリア戦線で獨逸軍を撃退した。佛英軍はシリア戦線で獨逸軍を撃退した。

佛對ソ國交斷絶

【本報パリ九日電】佛國はソ連と國交を斷絶した。佛國はソ連と國交を斷絶した。佛國はソ連と國交を斷絶した。佛國はソ連と國交を斷絶した。

ソ聯海軍無能 中將、暴落

【本報モスコフ九日電】ソ聯海軍は無能で、中將が暴落した。ソ聯海軍は無能で、中將が暴落した。ソ聯海軍は無能で、中將が暴落した。ソ聯海軍は無能で、中將が暴落した。

狙ふ重慶空軍の活用

【本報重慶九日電】重慶空軍の活用が狙われている。重慶空軍の活用が狙われている。重慶空軍の活用が狙われている。重慶空軍の活用が狙われている。

對米爲替協定

【本報東京九日電】對米爲替協定が締結された。對米爲替協定が締結された。對米爲替協定が締結された。對米爲替協定が締結された。

食糧消費高を調査し、需給對策に根本施策を講ずる。御協力をお願いする。食糧消費高を調査し、需給對策に根本施策を講ずる。御協力をお願いする。食糧消費高を調査し、需給對策に根本施策を講ずる。御協力をお願いする。

ゴム
ゴムベルト
ゴムロープ
ゴムロープ
ゴムロープ
ゴムロープ
ゴムロープ
ゴムロープ
ゴムロープ
ゴムロープ

ビオゼス

糖衣 厚皮 油肝 粒

おの様子
劑DANミタビ

どんな
肝油嫌ひの
お子様でも
ビオゼスならは
喜んで
召上ります

【効用】
ビオゼスは、小児の成長に必要な栄養素を豊富に含んでいます。肝油嫌ひのお子様でも、糖衣の味で喜んで召上ります。また、油肝の成分が、小児の健康を促進します。

【用法】
小児は、毎日1粒を食後に水で送下してください。大人は、毎日2粒を食後に水で送下してください。

【注意】
ビオゼスは、小児の成長に必要な栄養素を豊富に含んでいます。肝油嫌ひのお子様でも、糖衣の味で喜んで召上ります。また、油肝の成分が、小児の健康を促進します。




老春 (137)

『老春』梗概　三浦重郎(岩谷の弟)
人徳の望のきつし、脚正市を築上げた石家重晴と
まがは、他の女一團衆、自願結婚せぬかんとて、まよふ
二十代に突入して、男の情欲の出で、出たて廿年
の歳つゞ来るゝ、女一人前、資金の前敷、學校設立し
て、師範生となるが、さへ、他人も、女子高等市正市が
入籍して来、同様に、千枝は、女子共進の團體に
に移りて、時々、他の市中も、校中にも、それと
な相の源流を知るに、多岐、岩谷、千枝
子に、千枝、母子とも、出て、人を會ひこ
に、千枝、母に、いふ、誰かを、日でき
察し、通して来た、と告白する。

[illegible][illegible]

エンビツは
短かくなるまで
使ひませう／



家庭医学

母體の榮養如何が

子供を強くも弱くもする

ビタミンBと無機質の補給が大切

乳兒死亡の大半を占める

消化不良と肺炎

☆お母様の心掛一つで未然に防げます

折角思えた子寶！スーク／＼
育てたいのは誰しもの親心で
化膿の赤やんの死亡率は
で、これはお乳を飲ませすぎた
胃を引き気管支、肺炎に通
であつて、さうした難い赤
んに「膿漏わかもと」を服
す。

で次々にこの子實は失はれて
 行きます。特に生後十日間の
 間は非常に高いのです。
 工業界に一番多いのですが、
 これは人工授乳のお乳が母乳と
 違つて、乳児の融合に必要な
 成分が不足してゐるからで、
 丈夫な赤ちゃんになること
 ができるのであります。「経乳
 と」には蛋白質、脂肪、糖
 質、ビタミン、ミネラル、

死亡率を低めて
 大切な人の胃腸を積極的に
 育てようとの國の親心から
 であるので、そのため果敢消化
 不良になり易いのであつて、人
 々の健康にきつて、これはあつて
 體重を
 増加する
 腸胃を促進し、

生省では全国四萬の醫師を要
して自五十萬七千八百二十五
人の病児に就て健康診査をし
て、更にその病児を治療すべし
と云ふ、この大規模な事業は、
「民間わかもと」はこのビタミ
ンBや無機酸素の補助は決
して缺かしてはならぬです
酸 カルシウム、燐、グリ

「だが、これを見ても驚く赤か
つらんが約一割もあるほどであり
ます。」

「それだ、年一回
養蚕を含んでみずから、これを
判別（はんべつ）に與へてゐると酒色不良
にもならず、よしなつたとして

死因をみると、消化不良等によるもの、肺炎等の消化器病、肺病、氣管支炎等の呼吸器病、また呼吸器病（肺炎等）の合併症患者も少なくないことが出来る。

[illegible]


では、勝負をきって死にせよ。なら何でもないのである。固く感

劑表什
ノ製

わかもとがよいこれを長く飲
けたなら実夫天子供になるとい
ふことを聞かされて、早速

てた苦心

二一四



井口 静子

かたのか、病氣も日に日に快
 子供より丈夫になりまして、昨
 貴屋敷家業を占有してゐるの
 して、それ以来すつと眼角を廣
 けました。お蔭で今では他業の
 ゲン、リチン、ヒスチチン

[illegible]

さうしてゐるうちに、また氣
を交差をやりまして、お露君に
「餓死わかもと」を贈りてから
も下り押すばかりでしたのに
胃腸の方も、一時は何を興へ
ても下り押すばかりでしたのに
胃腸の職員になることがあつ
てあります。

右の「餓死わかもと」
三巻、カクシキ直

なく、そこでレントゲンで診て
貰ひました結果、肺門部腫瘍が
疑く、さあどうしたらよいかと
問ふも、大夫になりまして、今で
は下痢することは一度もござい
ません。とれと申しますものは

十銭八十三日五圓五
角なり定価格販賣
數程に當らぬ體價を
公認わかめ本舗より

迷ひました。
ちやうど主人の勤め先のお友
人にと一應お別れかましたのち、
郷を思ひてたまいません。
す。

[illegible]

磨歯ブラク

薬用



原中・煉・許特登専
カルカ・ルーク 歯面 咬
合ルーモチドーヨとルーロ



206%

歯一本失ふと咀嚼弱る

★御記憶下さい、下の六才
 白歯一本失つてさへ咀嚼能
 力が二〇・六%弱も低下する
 ことを、その上、敗血症な
 ど死の危険を招き易い重症も
 ムシ歯や歯槽膿漏を捨て置く
 ために起ることが一番多いの
 です。

歯疾は早期に治療する……そ
 れにも増して平常の確實な漱
 防対策が肝要です。化学的清
 掃力と薬効で歯疾を防ぎ歯グ
 ヌを強める薬用クラブ歯磨の
 常用をお奨めします。

大切な歯の
 護りには薬
 用歯磨を！

公定価格 部外品

HN-N 68

力大

口中殺菌劑

口より入る

病菌を防ぎ

精神を爽快にする

飲食の後、外出の時、
人込に居る時、疲勞
倦怠の時

カ大理の二三粒を服用
せば心身各機能の活動力
を旺盛ならしめ口より侵
入する諸種の病菌を豫防
し精神を爽快にす

配劑と効用

- 一、口中殺菌劑を配合す
先づて口腔又は飲食物と共に口に経より大し来る諸
種の病菌等を口中にて殺除するが故に即ちの傳染
病を預防す。
- 二、健胃整腸劑を配合す
從つて胃を健全にし其の消化力を増進し食慾を増
進せしめ下痢腹力タル等に患屬則は軟弱と相協力
してこれを治療す。
- 三、興奮劑及強壯劑を配合す
從つて心身の衰弱沈滞したる時には各種能を回復せ
しめ精力を回復旺盛にして體質と相俟つて肉體の
強壯を期らしむ。
- 四、清涼劑及美香劑を配合す
從つて本特許の芳香により口中の口臭、惡氣を除き
餘感には咽喉の乾燥を消し、香氣を變化し、從つて
之を爽快ならしむ。

定 價 と 量	
大瓶	(八十粒) 二百五十錢
中瓶	(四十粒) 一百二十五錢
小瓶	(二十粒) 六十二五錢
散裝	每百粒付銀五十錢
散裝	每五十粒付銀二十五錢
散裝	每十粒付銀五錢
散裝	每五粒付銀二錢五分
散裝	每二粒付銀一分



衛生錠

本舖總發 安藤井筒堂藥品部

東京市日本橋區小天宮



宮城前の敬虔な二人の祈り

白衣の志願兵東京版第二報

東京版第二報 白衣の志願兵東京版第二報

東京版第二報 白衣の志願兵東京版第二報

白頭山に挑む

威北警官の耐暑訓練

威北警官の耐暑訓練

威北警官の耐暑訓練

国際の怪奇蹴飛ばし

我ら常會で語らん

我ら常會で語らん

我ら常會で語らん

百年の知己、兩巨人

山下中將と手治安部大臣



山下中將と手治安部大臣

山下中將と手治安部大臣

熱意なほ不足

化戦線僅か四分四厘増

化戦線僅か四分四厘増

化戦線僅か四分四厘増

全鮮の中等生から

國語の推進隊

國語の推進隊

國語の推進隊

京仁の工場へ

初の安全週間

初の安全週間

初の安全週間

農道に擧る

今夏農業報研修會

今夏農業報研修會

今夏農業報研修會



女子供でも検査

日本人の旅行には必ず行

日本人の旅行には必ず行

日本人の旅行には必ず行

信書の送達は

郵便法違反

郵便法違反

郵便法違反

中南鮮豪雨の跡

京釜線けさ復

京釜線けさ復

京釜線けさ復

戦ふ一億明るく強く

事變記念語入選

事變記念語入選

事變記念語入選

浸水家屋

千戸

千戸

千戸

自動車線も不通

下り線に車は通らず

下り線に車は通らず

下り線に車は通らず

急特急

日本線

日本線

日本線

今日の天気

降つたり止んだり

降つたり止んだり

降つたり止んだり

東洋拓殖債券

償還當籤公告

東洋拓殖定期債券抽籤發行ノ圖下記諸號當籤ニ付償還引換ニ支拂可致ス

昭和十六年七月一日

東洋拓殖株式會社

東洋拓殖債券償還當籤番號表

第百貳拾貳回抽籤 第八次償還 元金拾五萬圓也

償還期日 昭和十六年七月二十六日

支拂場所 朝鮮 銀行

千圓券	百圓券	五十圓券	十圓券	五圓券	二圓券	一圓券	五百圓券
番號 (30%)	番號 (30%)	番號 (30%)	番號 (30%)	番號 (30%)	番號 (30%)	番號 (30%)	番號 (30%)
708	1108	151	242	434	806		
715	1115	163	249	479	1010		
1048	—	—	284	618	1024		
1055	—	—	352	844	—		

第百貳拾參回抽籤 第六次償還 元金拾五萬圓也

償還期日 昭和十六年八月十六日

支拂場所 朝鮮 銀行

千圓券	百圓券	五十圓券	十圓券	五圓券	二圓券	一圓券	五百圓券
番號 (30%)	番號 (30%)	番號 (30%)	番號 (30%)	番號 (30%)	番號 (30%)	番號 (30%)	番號 (30%)
18	267	81	470	798	958		
14	268	83	477	804	958		
107	—	86	479	829	958		
108	—	87	480	838	958		

第百四拾壹回抽籤 第二次償還 元金拾陸萬圓也

償還期日 昭和十六年七月十五日

支拂場所 日本興業銀行、朝鮮銀行、三井銀行、三和銀行、三銀發行、安田銀行、第四銀行、住友銀行、三井、三和、安田、友友、四信、配付社、各本支店 (除在外支店)

千圓券	百圓券	五十圓券	十圓券	五圓券	二圓券	一圓券	五百圓券
番號 (30%)	番號 (30%)	番號 (30%)	番號 (30%)	番號 (30%)	番號 (30%)	番號 (30%)	番號 (30%)
811	1061	13	265	858	147	719	1104
820	1060	14	269	854	148	728	1107
830	1061	15	275	854	148	738	1107
840	1060	16	276	854	148	747	1107
1041	—	17	277	854	148	757	1107
1050	—	18	278	854	148	767	1107
1059	—	19	279	854	148	777	1107
1068	—	20	280	854	148	787	1107
1077	—	21	281	854	148	797	1107
1086	—	22	282	854	148	807	1107
1095	—	23	283	854	148	817	1107
1104	—	24	284	854	148	827	1107
1113	—	25	285	854	148	837	1107
1122	—	26	286	854	148	847	1107
1131	—	27	287	854	148	857	1107
1140	—	28	288	854	148	867	1107
1149	—	29	289	854	148	877	1107
1158	—	30	290	854	148	887	1107
1167	—	31	291	854	148	897	1107
1176	—	32	292	854	148	907	1107
1185	—	33	293	854	148	917	1107
1194	—	34	294	854	148	927	1107
1203	—	35	295	854	148	937	1107
1212	—	36	296	854	148	947	1107
1221	—	37	297	854	148	957	1107
1230	—	38	298	854	148	967	1107
1239	—	39	299	854	148	977	1107
1248	—	40	300	854	148	987	1107
1257	—	41	301	854	148	997	1107
1266	—	42	302	854	148	1007	1107
1275	—	43	303	854	148	1017	1107
1284	—	44	304	854	148	1027	1107
1293	—	45	305	854	148	1037	1107
1302	—	46	306	854	148	1047	1107
1311	—	47	307	854	148	1057	1107
1320	—	48	308	854	148	1067	1107
1329	—	49	309	854	148	1077	1107
1338	—	50	310	854	148	1087	1107
1347	—	51	311	854	148	1097	1107
1356	—	52	312	854	148	1107	1107
1365	—	53	313	854	148	1117	1107
1374	—	54	314	854	148	1127	1107
1383	—	55	315	854	148	1137	1107
1392	—	56	316	854	148	1147	1107
1401	—	57	317	854	148	1157	1107
1410	—	58	318	854	148	1167	1107
1419	—	59	319	854	148	1177	1107
1428	—	60	320	854	148	1187	1107
1437	—	61	321	854	148	1197	1107
1446	—	62	322	854	148	1207	1107
1455	—	63	323	854	148	1217	1107
1464	—	64	324	854	148	1227	1107
1473	—	65	325	854	148	1237	1107
1482	—	66	326	854	148	1247	1107
1491	—	67	327	854	148	1257	1107
1500	—	68	328	854	148	1267	1107
1509	—	69	329	854	148	1277	1107
1518	—	70	330	854	148	1287	1107
1527	—	71	331	854	148	1297	1107
1536	—	72	332	854	148	1307	1107
1545	—	73	333	854	148	1317	1107
1554	—	74	334	854	148	1327	1107
1563	—	75	335	854	148	1337	1107
1572	—	76	336	854	148	1347	1107
1581	—	77	337	854	148	1357	1107
1590	—	78	338	854	148	1367	1107
1599	—	79	339	854	148	1377	1107
1608	—	80	340	854	148	1387	1107
1617	—	81	341	854	148	1397	1107
1626	—	82	342	854	148	1407	1107
1635	—	83	343	854	148	1417	1107
1644	—	84	344	854	148	1427	1107
1653	—	85	345	854	148	1437	1107
1662	—	86	346	854	148	1447	1107
1671	—	87	347	854	148	1457	1107
1680	—	88	348	854	148	1467	1107
1689	—	89	349	854	148	1477	1107
1698	—	90	350	854	148	1487	1107
1707	—	91	351	854	148	1497	1107
1716	—	92	352	854	148	1507	1107
1725	—	93	353	854	148	1517	1107
1734	—	94	354	854	148	1527	1107
1743	—	95	355	854	148	1537	1107
1752	—	96	356	854	148	1547	1107
1761	—	97	357	854	148	1557	1107
1770	—	98	358	854	148	1567	1107
1779	—	99	359	854	148	1577	1107
1788	—	100	360	854	148	1587	1107
1797	—	101	361	854	148	1597	1107
1806	—	102	362	854	148	1607	1107
1815	—	103	363	854	148	1617	1107
1824	—	104	364	854	148	1627	1107
1833	—	105	365	854	148	1637	1107
1842	—	106	366	854	148	1647	1107
1851	—	107	367	854	148	1657	1107
1860	—	108	368	854	148	1667	1107
1869	—	109	369	854	148	1677	1107
1878	—	110	370	854	148	1687	1107
1887	—	111	371	854	148	1697	1107
1896	—	112	372	854	148	1707	1107

獨伊 兩國では何れも我々一行を兎羯の便所として、ヒトララ一帯に、ムツツグリーニ伊直臣を初め重臣民を問はず心からの歡迎、擁護で迎へるところ、重車、かつ行旅に鐵劍を盡してくれたことは、彼等に堪へない。獨、伊兩國族にドイツはヒトララ一帯の下に一糸未

[illegible]

◆上瀧内務局長談

シムコおよびリック、戦艦に、一、ミンスおよびペラ
艦は、若狭部隊、戦車部隊は、チ方論で、戦車隊に協力
の攻撃により、二九日夕に、軍中の艦隊兵部隊とラ
ルシシキ廿九日開戦、フィンランド軍艦隊は廿九日
が、本國軍艦隊に、わたり、攻め、攻撃を開始したと、発表さ
れた。

の他の野線においてもノ羅軍は子
の國爲様を堅持してゐる
一、海戦においては去る二十七日
リガ湾で羅水艦一號が撃沈され
た言傳加報告が入つた

爲すべき命令を爲すこと
 以上が大本大綱の特別の内容であるが、師範学校の教育命令に於ける、認定された本経験教師の派遣金の降格及び最悪の場合に於ける責任の追及は最も動機づけられるべきものである。

中絶して、我が國が二三
 師範の關係を供へて中絶の
 硬直を致す。此の二つを
 に適合し、願せよ。

王主は英國に在り、日本の
 出る處に於てあらざる。

金と有難、又買入銀貨の買入
金により計りを受けた銀貨の買入
は本日より認可せられたる銀貨
の買入と看做され、又同金に基づ
く金貨は本金に上り定むる銀
貨と看做され、本金有難口に
おいても、引換等の効力を有す
るものである。本金も、引換も効
力を有する。

×

表情に際する、この感傷は、
國々々民の睡の胸に生かす。

×

寧ろ雨の土井龍太、スタ
リンの曲に動を睡も、寧ろ
の本格的な睡はこれ。

×

力を有する石の「定数」又は「確定
数の定めなき数」若しくは「不定
数の定めなき数」等においては、
本条による平均計算は適用されず、最長
期間、最長排他期間は、確定数値
の定めあるもので算出せしむべきであ
る。この「数の規定に効力を有する」
とあるのは、

○ × ○

東京地裁の決定（さんへ半）

裁判官が對日石炭協会の執行
とニミエヨクかを問ふ。又、
の調査、鑑定の無効、裁判の閉日
を経た。

のである。従つて本会、國共の戦線に付ては既に從前通り軍の許可を要するのである。

學生の慰勞の司、受ける役野んの赤衛、職生、職生の黨、職生、職生に在り。

野に眞人あり（四）

鐵戟の手に、勝將の強
を繼いで、新だ千馬勝の大旗
州へ入つて、霧障に正めし卿

武略はそれと、急命を下すも
として四時なきは、驚愕へ集集し
に、思ふなきを、驚虎すその
に、思ふなきを、驚虎すその

我師は備ふなくうづつた
どんなに驚かんと思ふのほか
曹賊は軍中の軍士を驚て、驚
この河北には、何うて、か
も驚なきが如くは、戦ふに
は、いふし眞人を指すす
惜しき（ひびく）に、に國
を大にうづつたの法
を、驚は、驚のむき許し

殿を御すべく仰召した。
 ところが或る日、飢餓をいたし
 、黒い腰服を着た一隊士が、
 民に捕まつて、府室へ引つ立
 ち起つてゐた。
 所詮、ここは近衛に属して、
 御は早草く、宇治（近衛地方）
 として遷けのび、州の別駕、蜀
 一限は、城を断けて、戰艦に配
 置され、戦を恐れ、諸君を讃へ

だつと驚いてゐました。
 「ふのがある。」
 八郎の聲ならぬのをきいて、麒麟
 球で起した。
 彼は、どこの同業者か？
 通人金

何ぞ驚いて、さうからいふのを聴か
 ず、半曲などの曲案に思いな
 ざりての曲案、彼は、拜曲の師
 (河北光義)を先手して、な

北北齋圖（山東省、通縣）の座
すにあつた。ちうとわづか數十騎を連
二人の大體が城門まぢかを
「葛弓、葛弓、開け給へ」
と、奴ひを呼んでゐる。葛
葛弓が傳へられてゐる。葛

[illegible]


へはせん。——この上、あ
 の首を斬らば、馬鹿殿にお
 お許下さるな、身代の御はお
 ろか、二銭を許されよしも。
 馬鹿殿は仕りせん。
 来の者に問答せしは
 飛つたに、馬鹿殿
 の旁つに殺さず、高僧
 の旁つに殺して、高僧
 の旁つに殺して、高僧
 の旁つに殺して、高僧

岩田正己 畫伯
高木保之助 畫伯
穴山勝堂

※ ※ ※

日本畫三人展

七月一日（招待日）
二日より 六日まで


 白服（既製）上下―廿八圓―五十圓
 紳士用レインコート―廿圓―五十圓
 すだれ（四枚折屏風）―四階―
 日本少國民展覽會
 一六日まで―五・六階
 町本城京
井中三

つたこと店舗の警備備置を
撤した點が指導されたとは
今後この種の企てを行ふ
に際して參考になるものと
して注目される。館蔵戦艦奥
武は二午後二時から府民
館で主圖と模型を多數出箱

店頭の照
りあります
店舗の装
明三郎（覆物店）
店）小林勘次郎
惣庵 北村隆一

は松山昌島氏は、宛の四十萬金を曉に二百萬圓と山縣院費に、又三十萬圓は江坂司法會に十五萬圓は佐々木氏に、平比呂鐵監獄事務に、五萬圓大田鐵監獄事務に、餘の半は大隈總理府所屬の之を併約三萬圓の私腹を賣却控へる爲めとなつてゐるが、
「富閑する」となつてゐるが、
につき昌島氏は謝遣しなかつた。来る七月七日で郵便船「肥後」を以て迎へることになり、たが船體の即決はない。

に難癖
まで打倒
拳闘家元山を

内畑を流し廻つた繁田が山陽線か
 瀬戸川に上陸、丹日には中野地方
 の繁田が山陽線か瀬戸川に上陸、丹日には中野地方

重なる
 原野を
 覆ひ隠した
 いことは
 形骸だけだ
 花散らした
 長
 坂十餘く
 輪を招くこ
 とで
 彼等を出し
 旅路も地盤
 住む人は特
戒
 来勢に對し
 川はしめ各説果は
 不運になつた、大
 ため敵軍も京都の
 四ミリといふ南無
 から思附一帶を襲
 圍へすやうな動い
 半には歸つてゐる
 の雨水時も卅日午

て次の如き元堡の防禦陣を上
 になつた、豪雨のあつた頃

日中前々民
 農事試験場
 臨時在二百
 頃現在二百
 頃、これが
 困難なとに
 内では大衆
 して附内い
 が疎へられ
 危険の危険

天水番は田圃用水
 つたが、その反対
 要する被害が幾幾

ダイヤ
 の運轉

中、順地方の雲雨は
 ず、大陸降線の東京
 の洪水、堤防など

豪雨の尖兵・京城へ突入

[illegible]

計するところ三萬七千七萬圓に
 約廿五萬圓が支出され、全額四
 萬五千人に餘る割出費以上の分を
 計するところ三萬七千七萬圓に
 約廿五萬圓が支出され、全額四
 萬五千人に餘る割出費以上の分を

つたが肝煎なる形像
ぶみ輸入りをしたので
で完全にノックアウト
形である「裏巻九元山

關元山生れ、元山登呂と云ふ春吉
を眞傳へて留圖リウトした、元山
去る二二日午後十時ごろ

・兄も溺死
に、日曜日の悲
外灘島 門通五ノ三三三 麗正堂
城岡大 みにおぼれて苦しんで

妓生の舞臺
稼はならぬ



と舟日京城平野等に呼出され
の上坂年の、概は返上となる

1階

夏スト 夏

F直 組ベ

【太郎】 慶北道で配屬すべし。至六度動い

2 階

盛 昆 夏

探 夏 水 雜

旭電化工業

朝 銘 鳩 高 力
鳩 鳩 鳩 鳩 鳩

仰げよ武動 捧げよ感謝
 酷熱の戦線へ
 慰問袋を (1階)

日支事變記念日
七月七日

明日封切

妻のねがらく



京劇

右門捕物帖
張り子の虎
浅香新八郎 主役
鈴木澄子 演

本日 人生の涙の中にねがらくの妻は生きて行く涙を拭け

梅宇原 淡島 美不み 村佐 二子 荻原 淳雄 子 淳雄 王 演 出 會根千晴 撮影 古泉勝男

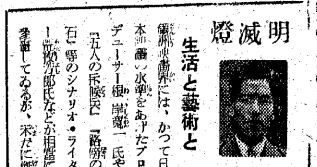
！興新く行ひ仲・劇京る切り張



国民劇場の建設

大 動

「国民劇場の建設」といふのは、東京に於ける文化界の一大動向である。従来、東京には大劇場はあつたが、その多くは娯楽的、商業的の爲めに建てられたもので、文化の振興、教育の普及の爲めには、適当な劇場が少かつた。従つて、文化界の有志者は、この不足を補ふ爲め、国民劇場の建設を志した。この劇場は、大規模で、設備が整つてゐる。また、その建築費も、多くは民間の寄付によつて充てられてゐる。この劇場の建設は、東京の文化界に大きな光榮をもたらすことゝなつてゐる。



明滅燈

生活と藝術と

「生活と藝術」といふのは、文化界の重要なテーマである。生活は藝術の源泉であり、藝術は生活の反映である。従つて、生活と藝術は不可分である。文化界の有志者は、生活と藝術の統一を求め、多くの傑作を生み出した。この統一は、文化の発展に大きく貢献した。

新映 小隊

独逸少年の狂想曲

品作逸獨



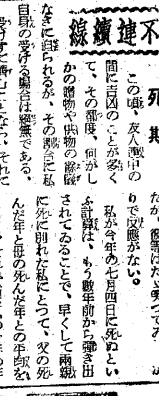
小隊

迷信はなぜ起る

文化の活力素・科学

迷信はなぜ起るのか。それは、人間の心理的な弱さによるものである。人間は、未知の世界に対して、不安を感じ、それを克服するために、迷信を信じてゐる。しかし、科学の発展により、迷信は徐々に消滅してゐる。科学は、人間の知性を高め、迷信を打ち破る力を持つてゐる。従つて、科学の発展は、迷信の消滅に大きく貢献する。

迷信はなぜ起るのか。それは、人間の心理的な弱さによるものである。人間は、未知の世界に対して、不安を感じ、それを克服するために、迷信を信じてゐる。しかし、科学の発展により、迷信は徐々に消滅してゐる。科学は、人間の知性を高め、迷信を打ち破る力を持つてゐる。従つて、科学の発展は、迷信の消滅に大きく貢献する。



死期

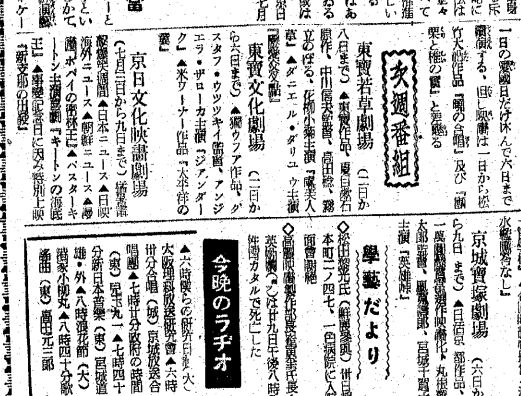
「死期」といふのは、人生の重要なテーマである。死は、人生の最終段階であり、誰もが避けてゐない。しかし、死は、人生の意義を問いかける。人は、死を意識することで、人生の価値を見出し、生き方の方向性を定めることができる。従つて、死は、人生の重要な教訓となる。



死期

南海侠勇傳

小松崎恒方



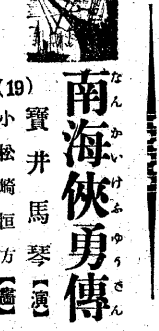
南海侠勇傳

迷信はなぜ起る

文化の活力素・科学

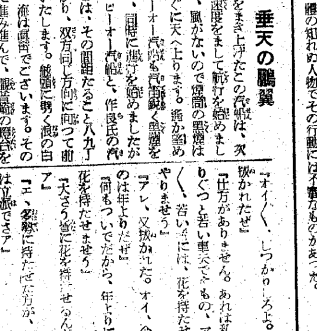
迷信はなぜ起るのか。それは、人間の心理的な弱さによるものである。人間は、未知の世界に対して、不安を感じ、それを克服するために、迷信を信じてゐる。しかし、科学の発展により、迷信は徐々に消滅してゐる。科学は、人間の知性を高め、迷信を打ち破る力を持つてゐる。従つて、科学の発展は、迷信の消滅に大きく貢献する。

迷信はなぜ起るのか。それは、人間の心理的な弱さによるものである。人間は、未知の世界に対して、不安を感じ、それを克服するために、迷信を信じてゐる。しかし、科学の発展により、迷信は徐々に消滅してゐる。科学は、人間の知性を高め、迷信を打ち破る力を持つてゐる。従つて、科学の発展は、迷信の消滅に大きく貢献する。



南海侠勇傳

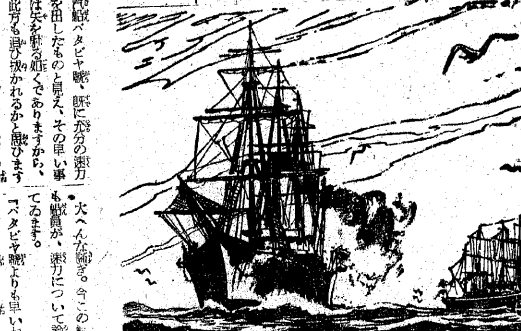
小松崎恒方



南海侠勇傳

迷信はなぜ起る

文化の活力素・科学



南海侠勇傳

迷信はなぜ起る

文化の活力素・科学

迷信はなぜ起るのか。それは、人間の心理的な弱さによるものである。人間は、未知の世界に対して、不安を感じ、それを克服するために、迷信を信じてゐる。しかし、科学の発展により、迷信は徐々に消滅してゐる。科学は、人間の知性を高め、迷信を打ち破る力を持つてゐる。従つて、科学の発展は、迷信の消滅に大きく貢献する。

迷信はなぜ起るのか。それは、人間の心理的な弱さによるものである。人間は、未知の世界に対して、不安を感じ、それを克服するために、迷信を信じてゐる。しかし、科学の発展により、迷信は徐々に消滅してゐる。科学は、人間の知性を高め、迷信を打ち破る力を持つてゐる。従つて、科学の発展は、迷信の消滅に大きく貢献する。

和信

洋砂器 各種

清涼飲料 各種

婦人子供用品

紳士洋雑貨

てま日五十月七

間時業營 九時一十時九

階各

和信

外被着の少華服

堅牢無比

優美

和信

和信

科内胃腸病

京府元町二丁目

電話龍山六番

和信

歌女おぼえ書

清水 忠雄

清水 忠雄

曉の合唱

松竹大船色

大船色

大船色

紅の夢

大船色

大船色

大船色

紅の夢

大船色

大船色

大船色

横濱火災

大船色

大船色

大船色

輸出補償法改正 七月早々実施か

甲種補償制を廃止

輸出補償法改正案は、七月早々実施される見込みである。改正案は、甲種補償制を廃止し、乙種補償制を唯一の補償制度とする。これは、輸出業者の負担を軽減し、競争力を高めるための措置である。改正案は、七月一日から施行される予定である。

弘中商工總會 配給物資の配分

弘中商工總會は、配給物資の配分について、各会員の要望に応じ、公平な配分を行うことを約束した。これは、物資の不足を解消し、生活の安定を図るための措置である。

食糧物出入状況 前月比増加

食糧物の出入状況は、前月比で増加した。これは、生産量の増加と消費量の増加によるものである。食糧物の安定供給は、国民生活の安定に不可欠である。

株式保合 新規な組合

株式保合は、新規な組合を設立した。これは、株式のリスクを分散し、投資家の利益を守るための措置である。新規な組合の設立は、株式市場の活性化に貢献する。

短期新東大引 大引の白熱

短期新東大引は、大引の白熱が予想されている。これは、需要の増加と供給の不足によるものである。大引の白熱は、価格の上昇を招く可能性がある。

米穀の市況 双方買入は買入

米穀の市況は、双方買入が買入されている。これは、米穀の需要と供給のバランスを調整するための措置である。双方買入の買入は、米穀市場の安定に貢献する。

生糸買入不振 糸買入不振

生糸買入は不振が続いている。これは、生糸の需要の減少と供給の過剰によるものである。生糸買入の不振は、生糸市場の低迷を招いている。

布綿内配 良好

布綿内配は良好である。これは、布綿の需要と供給のバランスが整っているためである。布綿内配の良好は、布綿市場の安定に貢献する。

現株市況

海運業	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本
-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	----